

令和5年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程〈社会人特別入試〉入学試験（秋期）

試験 科目	専門科目 (行動学系)	講 座	人間行動学 行動生態学	研究 分野		受験番号 examinee number						採 点	
----------	----------------	--------	----------------	----------	--	-------------------------	--	--	--	--	--	--------	--

受験番号を書きなさい。Write down your examinee number.

（ 3 枚中の 1 枚目）

次の①から⑤の条件に従い、以下の諸問題から1問を選択して解答せよ。

- ① 問題番号（1から3）に記載されている研究分野名を参照し、志望する研究分野の問題を選択すること。
- ② 別紙答案用紙（3枚目）を用いて解答すること。問題用紙ならびに答案用紙はその全てに、志望する講座を○で囲み、研究分野と受験番号を記し、答案用紙には選択した問題番号を明記すること。
- ③ 複数の小問からなる問題を選択した場合には、解答ごとに最初に必ず小問の記号を記入すること。
- ④ 辞書の使用は認めない。
- ⑤ 日本語または英語で解答すること。ただし、指定がある場合はその言語を使うこと。

1.（社会心理学）次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

（問題文は、著書の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下のとおりです。）

出典：Koo, M. (2022) Residential mobility and consumer psychology through a cultural lens. *Journal of Consumer Psychology* 32: 541-546.

令和5年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程〈社会人特別入試〉入学試験（秋期）

試験 科目	専門科目 (行動学系)	講 座	人間行動学 行動生態学	研究 分野		受験番号 examinee number						採 点	
----------	----------------	--------	----------------	----------	--	-------------------------	--	--	--	--	--	--------	--

受験番号を書きなさい。Write down your examinee number.

(3 枚中の 2 枚目)

- (a) 下線部(1)と(2)を日本語に訳しなさい。
- (b) 下線部(3)にあるとおり，これは Residential mobility が消費者心理学に新たな視点をもたらすことを期待したコメント論文の冒頭部分である。Residential mobility の定義をふまえて，こうした視点をあなたなりにいくつか挙げた上で，それを実証しうる研究計画を立てなさい。なお，研究には調査（相関関係を検討するもの）と実験（因果関係を検討するもの）の両方を含むものとする。
2. (臨床死生学・老年行動学) あなたが博士前期課程入学後に行う研究テーマに関して，(a)研究の社会的意義，(b)研究の学術的意義を説明しなさい。次に，前期課程在学中の期間に検討する研究テーマのリサーチクエスチョンを(c)具体的に先行研究を踏まえた研究の現状から説明し，在学期間中に行う研究計画を記述しなさい。
3. (安全行動学) 事故発生要因の一つにコミュニケーションエラーがあるが，その発生過程と防止対策について，人間特性の観点から論じなさい。具体例を交えながら記述すること。

